

ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。
～ATAC規約第2条より～

1. コンサルティング

中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて600件のコンサルティング業務に携わってきました。

2. セミナー開催・講師派遣

従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

3. 書籍刊行

- ・ ATACの経営便利帳
- ・ 現場の課題解決はこうする(中堅・中小企業の業務改善事例)
- ・ 中堅・中小企業へのATAC提言集
 - ①新商品開発のヒント ②ISO9000 認証取得の手引き
 - ③ISO14001 認証取得の手引き ④中小企業のためのIT
 - ⑤材料選択の手引き ⑥設計を考える
- ・ 目からウロコのアドバイス ～中小企業経営者への提言～

4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

新たに公的支援情報送信サービスをご希望の企業の方は下記の申込書にご記入の上、**FAX (06-6443-5319)** でお申し込みください。

企業名	担当者
所在地	
TEL	FAX
E-mail	
<input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> E-mail に送信希望いたします。	



「サーバントリーダーシップ入門」

池田守男（資生堂相談役）・金井壽宏（神戸大学大学院経営学研究科教授）共著
株式会社かんき出版、2007年、定価（本体1,500円＋税）

この本の副題は、「引っ張るリーダーから支えるリーダーへ」です。

サーバントという言葉は、「奉仕する人」「尽くす人」という意味で、ベースになるのは「信頼」です。社会心理学的にいえば、「リーダーシップとは、フォロワーが目的に向かって自発的に動き出すのに影響を与えるプロセス」なので、「支えるリーダーシップ」という概念も重要であることを示唆し、サーバントリーダーシップの実践例を紹介しています。

1970年に米国AT&T社のR. K. グリーンリーフが提唱した「サーバントリーダーシップ」の研究者である金井教授と、秘書として5代の社長を支え、自らも社長を勤められた池田相談役との共著で、第1章ではサーバントリーダーシップの考え方、第2章ではサーバントリーダーの実践、第3章では著者の対談、第4章ではサーバントリーダーになる機会について述べられていますが、著者は、「企業社会では、リーダーは組織やチームを強力に引っ張る人だと思われがちだが、サーバントリーダーシップは、それとは反対の行動をとる。力づくで引っ張るのではなく、ミッションに向かって自発的に歩み寄る人を後押しするのだ。それは使命感に基づいてなされる高貴な行動であり、組織やチームに目的を達成させる大きな力になるのである」と言っています。

企業の業績向上がますます困難で混迷の時代になってきている昨今、「オレについて来い」という概念のリーダーシップに固執するのではなく、部下を支える「サーバントリーダーシップ」の概念を生かした実践の必要性を改めて考えさせられました。

（廣谷記）

